

the Copper 7822

安心・安全な銅を使った 抗菌・抗ウイルスコーティング

人体の必須微量元素であり、粉ミルクにも添付されている「銅」が主成分。より安全で安心な抗菌・抗ウイルスコーティングを実現しました。

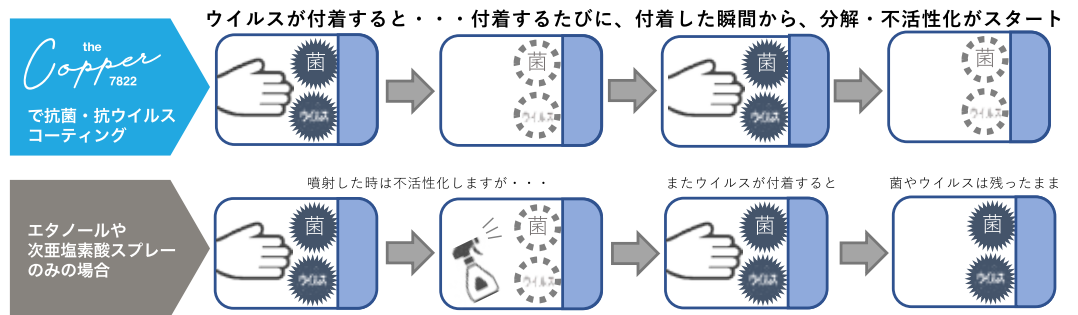
抗菌・抗ウイルス成分の イオン化に成功 *製法特許取得済

抗菌成分を、物質の最小単位である「イオン」の形で安定した配合に成功。より効果的な抗菌・抗ウイルスコーティングを実現しました。

抗菌・抗ウイルスコーティングとは

接触感染対策に 持続的効果

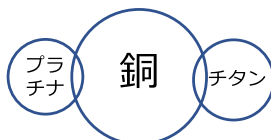
ドアノブや壁、手すりなどよく触れる場所に、45ミクロンの微粒子噴霧器を用いたミスト噴霧で「抗菌・抗ウイルスコーティング」を行います。噴霧した場所に付着したウイルスや菌は、その瞬間から分解・不活性化が始まります。金属や布地への腐食性もなく人にも全く無害です。



the Copper 7822

の抗菌・抗ウイルス メカニズム
銅イオン主体のマルチプレックス効果

銅イオンをプラチナ、チタンがサポートしより強力な抗菌・抗ウイルス性能を実現



銅の知られざる抗菌パワーとは？

- その1 銅イオンが菌の細胞内に取り込まれて、酵素やたんぱく質等に結合し、その機能を阻害。
- その2 銅イオンが触媒になって、空気中の酸素の一部を活性酸素化。その作用で菌の有機物を分解。

(提唱されている主な説です)

the
Copper
7822

のコーティング施工にはこんなメリットが



施工済み証明
ステッカー

安全・安心環境

お客様および従業員のため、安全・安心環境を作ります。

1

従業員の負担軽減

アルコール等で都度消毒する従業員の負担を大幅に軽減し、本来の業務へ専念できます。

2

営業リスク軽減

感染症に伴う一時閉店やその後の対応などの営業リスクを軽減します。

3

対策済店舗という証明発行

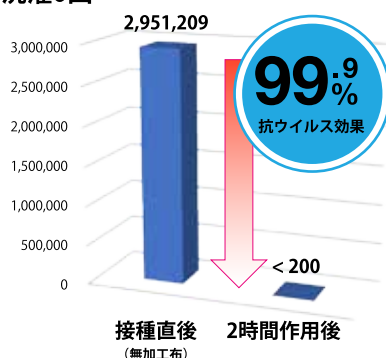
施工後は施工済みステッカーを発行。お客様へ対策済みであると明確に伝えます。

4

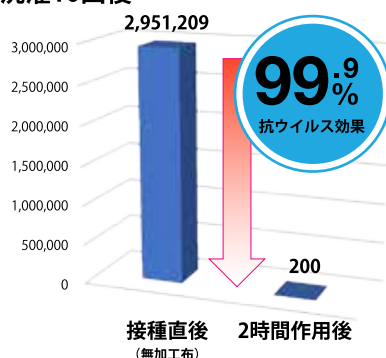
インフルエンザと新型コロナ「ツインデミック」へのリスク対策はお済みですか？

第三者検査機関による 銅イオンの抗ウイルス効果評価結果 (A型インフルエンザウイルス) -抜粋-

銅イオン加工生地 洗濯0回



銅イオン加工生地 洗濯10回後



試験ウイルス：A型インフルエンザウイルス (H3N2)
生地：編地 (24/1 天竺生地)
試験方法：JIS L 1922 繊維製品の抗ウイルス性試験方法
放置条件：25℃ 1 2JK
感染価測定法：ブランク測定法
洗濯方法：(社)繊維評価技術協議会SEKマーク繊維製品の洗濯方法標準洗濯法、吊干し

速報

2020/9/25

新型コロナウイルスに対する不活性化効果が確認されました。現在、研究機関においてさらに詳細の検証を実施しております。(2020年内完了予定)

施工の流れ

お客様の事前準備

施工前に噴霧場所とトイレの清掃を行ってください。ドアノブ・手すりは拭き掃除をしてください。パソコン等の電子機器にはカバーをしてください。噴霧箇所にある食器・伝票等小物類は片付けてください。

噴霧作業

作業員がコーティング剤を噴霧します。人体に害はありませんが、噴霧開始後、乾燥定着するまでは入室をお控えください。(目安：100㎡ 20~30分程度)

噴霧作業後

ドアノブ・手すりには布に溶剤をスプレーして湿布します。作業後、エアコンを入れる、窓を開けるなどして乾燥させます。

実際に使われている場所



様々な抗菌素材との比較

成分	アルコール (エタノール)	次亜塩素酸水	オキシドール (過酸化水素)	オゾン	the Copper 7822 銅、プラチナ、チタン	酸化チタン
持続期間	一時的 (噴霧時のみ)	一時的 (噴霧時のみ)	一時的 (噴霧時のみ)	一時的 (噴霧時のみ)	長期	長期
人体への影響	肌荒れ	要注意	高濃度の場合 皮膚に強い痛み	目や喉に刺激	なし	なし
特徴	発性が高く、散布ではなく拭き上げ消毒に向いている	生成方法によっては人体への害が大きく商品選定が難しい	工業用途に適している	強い毒性がある 水道水の殺菌等に有効	長期保管可能で効果が落ちない	光触媒 光により反応するため 屋内には不向き
利用実績	日常利用	飲食店、市場	工場	ホテル	クリニック、店舗、オフィス	高層ビルの外壁
価格	安価					高価